

# 英国の高等教育における多様性



**アリソン・ビール氏**

オックスフォード大学  
日本事務所代表

英国では、平等と多様性は重要だという認識が高まっていて、それを実現するための法律的な枠組みが整えられつつあります。しかし英国の大学や諸機関での不平等はいまだに存在しており、それは給与の差や組織の上層部における多様性の欠如というエビデンスによって明らかです。幸いなことに、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と社会的包容）がひとつのとても大切な問題として議論されるべきだという風潮は確かにあります。しかし、この問題が倫理的にもビジネス的にも非常に重要であるにもかかわらず、変革のスピードは十分速いとは言えません。今回の私のプレゼンテーションでは、英国の高等教育における多様性の問題、変革の進展状況、多様性促進施策の成功事例、そして英国の大学が現在必死になって解決しようとしている課題についてお話しします。



# 多様性と戯れよう



**宮内 孝久氏**

神田外語大学学長

多様性の中で生きるとはとはトツテモ面倒ですが、我々を強くします。

優等生的に「多様性を尊重しよう」というのも良いけれど厄介な多様性の中で面白さを見つけようとのニュアンスを込めて僕は「戯れよう」が好きです。

似たような人々と暮らしていると楽ですが画一性は大きなリスクです。サクラのソメイヨシノはクローンなので天敵が現れたり感染症に掛かると瞬時に全滅する可能性があります。多数が正義でないことは歴史を学べばわかり、多数決はリスクです。我儘な要求や意見など少数意見を聞いていくと收拾がつかないこともあります。多数の暴走を止めて国家、組織や集団の危機を救うこともあります。人間は知らないことに興味を持ち、同時に警戒心を抱き食べつけない食べ物に拒否反応を示すことがあります。危険予知能力がうまく働いている証拠ですが、食わず嫌いは勿体ない。多様な文化背景を有する人と付き合い、多様性と戯れて愉快的な人生にしましょう。



# JALスカイのD&Iについて

## ～多様な人財の活躍推進による価値と活力の創出に向けて～



**屋敷 和子氏**

日本航空執行役員  
東京空港支店長  
JALスカイ代表取締役社長

「世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社」になるため、そして企業理念である「全社員の物心両面の幸福」を実現するためには、その原動力となる人財の力が不可欠です。

女性をはじめとする多様な人財の活躍を推進することは、一部の社員だけに光を当て、活躍を支援するといったものではありません。

一人ひとりがお互いの「異なる部分」に注目し、違いをとことん議論しながら、認め合いながら、新たなものを生み出していく。

ダイバーシティインクルージョンを推進していくためには、ワークスタイル変革と連携しながら、多様な働き方の制度の整備はもちろん、多様性を活かす取り組みが必要となります。

JALスカイで実践しているダイバーシティインクルージョンについてお話しします。

